

第5回 清瀬市公共施設再編計画市民検討委員会 会議録

日 時：平成30年11月6日（火）午後6時～午後7時50分

場 所：男女共同参画センター 会議室1・2

出席者：①委員10名

池田厚子委員、井澤敏夫委員、今中真琴委員、内野光裕委員、大津里美委員、久世清美委員、関戸和之委員、高井正委員、星野泉委員、星野孝彦委員（敬称略、五十音順）

②事務局4名

企画部長、企画課長、企画調整担当職員2名

③コンサルタント（有限責任監査法人トーマツ）4名

※以下、「コンサル」と表示。

欠席者：無し

傍聴者：1名

《次第》

1. 開会

2. 協議事項

（1）清瀬市公共施設再編計画市民検討委員会報告書（案）について

3. その他

《配布資料》

1. 資料1：清瀬市公共施設再編計画市民検討委員会報告書（案）

《審議経過》

1. 開会 事務局が進行。

2. 協議事項 委員長が進行。

（1）清瀬市公共施設再編計画市民検討委員会報告書（案）について

- 資料1について事務局から説明の後、報告書（案）について協議。以下、意見及び協議応答。

《委員》

1頁の下から3行目末尾の「市民との合意形成を図っていくものと考えます」を「市と市民との合意形成を図っていくことが大切だと考えます」に修正。冒頭が2マス空いているので1マスに修正。委員会名で出すの

か、委員長名で出すのか検討。また委員名簿を掲載。3頁一番下の「利用者目線で」を「市民目線・利用者目線で」に修正。全体的に「すべき」という表現は強いため修正。特に4頁は文末に多用している「考えます」との間に違和感がある。「頂きたい」という表現も市に対する委員の報告書としては違和感があるので修正。「良い」と「よい」の表現はどちらかに統一。4頁②の「輪番制などを導入することで」の前に「歯科医師会の協力を得て、歯科医院の」を加筆。

《委員長》

「良い」は平仮名で統一した方がよい。

《委員》

「すべき」という表現は避け、「してはどうでしょう」といったニュアンスにしてほしい。4頁①に「コミュニティプラザひまわりの体育館の廃止」とあるが、そこまでの結論は出ていない。まだ下宿の市民プールの廃止の方が総意としてまとまった。

《委員》

4頁は結論を書かないといけないのか。「すべき」という結論に至っていない。もしそうであれば⑤に中央図書館の拠点化も意見としてあったので記載すべきである。

《委員長》

全体的に文末の「すべき」は修正する。委員会の総意としてはもう少し緩やかな表現がよい。

《コンサル》

プールに関する議論は6頁に記載のとおりである。これを見ると屋外のプールは不要だとあり、プールという施設そのものが不要という議論ではなかったと理解している。屋内だったら年間通して使えるという意見や、総合的なスポーツ施設の中にあってもよいといった意見があった。よって、市民プールは不要だが、下宿地域の拠点に、場合によっては屋内プールがあってもよいといった文章にしてはどうか。

《委員長》

あえて下宿の市民プールを「要らない」と書く必要はあるのか。

《委員》

「コミュニティプラザひまわりの体育館の廃止」は書かなくてもいい。もしこの文章を入れるなら市民プールについて書いてほしい。またこの委員会では少しでも公共施設の延床面積の削減を議論の前提にしないでいけないのに、屋内プールをつくるという意見は入れてよいのか。

《コンサル》

コストの話はこの委員会の初回で説明したが現状を知っていただきたい趣旨である。その上で市民の立場で、市民感覚で意見を頂きたい。報告書の内容は市民・利用者目線の意見となる。全て加味して総合的に考えて頂くには時間的にも労力的にも心苦しい。コスト等は検討本部や来年度以降の議論で考えていきたい。欲しいものは欲しい、要らないものは要らないという立場でお願いしたい。

《委員長》

全体的に緩やかな表現になっているが、「コミュニティプラザひまわりの体育館の廃止」だけ明確な表現となっているのでここは修正する。「廃止」という文言が強いので、下宿地域を再整備してよりよいものにするといった表現がよい。

《委員》

多くの公共施設は必要に応じて、市民要望に応じて作ってきたものだが、コミュニティプラザひまわりは、都立高校がなくなり、リーズナブルな金額でそれを入手できたので、入手したものをどの様に使おうかと、これまで考えてきた。今では広報の努力が実り市民に浸透してきたが、この施設に関しては、アクセスが悪い、使い勝手がよくないという意見がいつも出てくる。

《委員長》

ニーズが先ではなく供給が先ということか。

《委員》

そこが他の公共施設と異なる点である。

《委員》

市は売却した方が税収に繋がると考えていると思い、この施設に関する意見は抑えた。ただ、ここのグラウンドは非常によく使われている。ここを廃止する際は別の場所に皆が使いやすいグラウンドが必要である。

《委員》

4頁③の「コストの割に、約7万5千人の市民にとって使い勝手が良くないイメージ」の表現を修正。この表現では全市民が使い勝手が悪いという意味になってしまう。使い勝手が良い市民もいる。

《委員》

報告書に利用率等のデータを入れた方がよい。その様なデータを元に議論してきたはずである。データが無いと「思い」だけの意見に見えてしまう。3頁2（1）の2行目「全市レベルの施設の集約はどのように行

えばよいかを検討した」の「どのように」は違和感がある。この委員会では全市レベルの公共施設の拠点化の是非は議論していない。拠点化することを前提に集約案への是非を議論した。「再編の一案についての意見」や「再編の一案への是非」等に修正。

《委員》

「全市レベルの集約について検討した」でよいのではないか。

《委員》

コミュニティプラザひまわりが悪い施設なのではなく、アクセスが悪いだけである。アクセスが悪いことをどうしたらよいか、という意味ではコミュニティバス等も記載した方が前向きな文章になる。

《委員》

コミュニティプラザひまわりを拠点化することがふさわしくないのであって、施設自体が不要とは言っていない。

《委員長》

ここでは「コミュニティプラザひまわりを拠点にしない」という点が結論であって、それ以外の表現は緩やかに書いた方がよい。

《委員》

コミュニティプラザひまわりを拠点から外す代わりに中央図書館周辺を新たに拠点化することが書けるのではないか。

《委員》

中央図書館の新たな拠点化も結論ではないのではないか。現に施設を利用している人がいるため、この委員会では結論がなかなか出せなかった。最初は本当に必要なのか否か踏み込んだ意見が出されていたが、最後は、あれも必要、これも必要となった印象がある。振り返るとこのまとめ方は合わない。

《委員長》

4頁③の3行目「ただし」から5行目「持たれています」まで削除。コミュニティプラザひまわりを拠点化しないという結論があればよい。

《委員》

「拠点」という言葉が、全市レベルの公共施設と地域レベルの公共施設と、この委員会では理解できるが一般市民は分かりにくい。

《委員》

「拠点」という言葉が何を表しているかが分かりにくい。

《委員長》

「集約化拠点」等という表現の方がよいのか。この委員会でも「拠点」という言葉を感覚的に理解するのに時間がかかった。

《委員長》

コミュニティバスについて、集約化により距離が遠くなった場合の一つの打開策になるので「その他」として記載。

《委員》

5頁⑤の図書館の記述が唐突である。それ以前は拠点という視点でまとめられている。もう少し多様な意見が出ていた。三小と七小の集約や南口児童館の可能性等、ぼかした表現でもよいので南側地域の拠点化をこの委員会の意見としてあってもよい。

《委員》

5頁⑤の図書館の記述は、6頁(3)の方に記載すればよいのではないか。ここではコミュニティバスや南側地域の拠点化の方を記載した方がよい。

《委員長》

中央図書館は4つの拠点から外れた施設なので、5頁⑤で記載されているが集約の話に入っていないので、バランスがよくない。6頁(3)に記載した方がよい。第4章で中央図書館以外の図書館が地域レベルの公共施設として記載されているが、中央図書館が全市レベルの公共施設なのかという判断としない面がある。

《委員》

図書館については、新たにビジネス支援や起業支援等の機能を追加したり、専門書を配架する図書館を置いたり、貸出しだけではない新しい機能について、機能の再建といった意味合いを加筆した方がよい。

《委員長》

図書館はコミュニティの重要な施設でもある。

《コンサル》

中央図書館とそれ以外の図書館の切り分け方は、前者は貴重な資料等も置いている一方、後者は利用者が日頃読む本の貸出しが主な機能である点異なる。また中央図書館には、企画事務を行う職員がおり、図書館行政を考える機能を持っている。機能の違いで分けている。この様な説明がなく分かりにくくなっているので修正したい。

《委員長》

5頁⑤は「その他」ではなく「4つの拠点以外の公共施設について」というまとめ方はどうか。

《委員》

3頁の図をみると中央児童館等、図書館以外にも4つの拠点から外れる施設が出てくるので、その様なまとめ方でよい。

《委員》

7頁の「コミュニティプラザひまわり周辺の拠点について」の3つ目は、小学校の統廃合の意見がなぜここに記載されるのか。

《事務局》

コミュニティプラザひまわりにアクセス面の課題があり、仮に三小と七小を統合した場合、空いた施設にコミュニティプラザひまわりの機能を担わせることができれば、その場所を代わりに拠点として位置づけることができるという意図である。

《委員》

言葉足らずでその様な意味がこの文面からは伝わらない。8頁の「その他について」の方に記載してはどうか。

《委員長》

補足説明を加えるか、補足説明を加えた上で「その他について」に記載するか、いずれかで修正する。

《委員》

同文中の「子どもの発達支援・交流センターとことこと」の「と」が多い。

《委員》

施設の名称は括弧で括った方がよい。

《委員》

拠点という言葉が分かりにくい。後半に地域レベルの拠点という言葉も出てくる。「全市拠点」とか「重要拠点」等としてはどうか。例えばコミュニティプラザひまわりを「拠点に位置付けない」というとコミュニティプラザひまわり自体が無くなる様に見える。初めて読んだ人が分かる様に、全市レベルと地域レベルの拠点の表現を明確に表現する。

《コンサル》

3頁の図で拠点という言葉が出てくるが、それよりも前の2頁に、全市レベルと地域レベルの拠点といった前提の考え方について、説明書きを

加筆する。

《委員》

清瀬駅周辺の拠点に出張所機能の様なものがあればよい。その点を加筆できないか。利便性の良い駅にあれば今二か所ある出張所はなくせるのかもしれない。またコンビニ交付は年配の方にとって馴染まず、出張所が必要になるのではないか。

《委員長》

今の意見を4頁の④に加えることでよいか。

《委員》

委員会の総意として細かい話まで記載することはできないのではないか。同じ様なレベルで言うと、芝小と四小を四中に統合する持論があるので、同様に記載してほしい。

《コンサル》

今の意見はどちらも6頁(3)の方に記載したい。

《委員》

9頁②の見出しの「通学について」は「通学における安全について」に修正する。下から4行目「人間関係の習得」を違う表現にする。その次の行の「大規模か小規模か十分な検討はできなかった」旨の記載は削除する。学校の規模に関する議論はこの委員会の役割ではない。

《コンサル》

様々な意見が出たといった表現に抑えたい。

《委員》

その様な表現でよい。下から2行目の「学校の中身を考えることも必要」は「学校の中身を考えることが必要」に修正する。

《委員長》

教育委員会任せではなく仮に住民検討委員会の様な形で議論する場があれば、それはかなり画期的な自治である。

《委員》

学校は子どもたちだけのもではなく、地域の拠点という新しい学校のあり方が出てきている。それを伝えるには「学校教育の内容やあり方を市民とともに考えることが求められる」に修正した方が市民の主体性も出るのでよい。10頁の下から3行目に「小規模は厳しいと思う」とあるが、「いじめ等に対してクラス替えといった対応ができないため」と補足説明を入れる。

《委員長》

かなり細かい形になる。他にも10頁の最後に「孫が卒業した小学校」といった表現も少し気になる。

《委員》

7頁の7行目「コミュニティプラザひまわりは通いにくくなり」の「なり」は違和感がある。「通いにくく」でよい。

《委員》

今、別の場所にある適応指導教室をコミュニティプラザひまわりに入れた場合、「通いにくくなる」という意味である。「なり」といった表現がないと、現に今コミュニティプラザひまわりに適応指導教室がある様に見えてしまう。

《委員長》

「コミュニティプラザひまわりに持っていく」という文章がないため分かりにくい。

《委員》

補足の上「なり」をとった方がよい。この文章は変な文章である。

《委員》

「適応指導教室の機能をコミュニティプラザひまわりに移すと通いにくくなり、連携も取りづらくなる」としてはどうか。

《委員》

「検討委員会が出されたその他の意見」は、やりとりの中で出たものなので、そこだけ見ると分かりにくい面が全体的にある。

《委員長》

後で丁寧に確認し、事務局と調整したい。

《コンサル》

議事録を見ながらこの部分を作成したが、本文から抜き、巻末に議事録を掲載すればよいかもしれない。

《委員》

確かに無理にまとめる必要はないのではないか。

《委員長》

その様に調整したい。

《委員》

12頁の下から2行目「どの高齢者も」を「希望する高齢者誰もが」に修正する。

《委員長》

「検討委員会で出されたその他の意見」を本編から抜くと、ページはどの程度ボリュームダウンするか。

《事務局》

半分程度である。

《委員長》

15頁の上から2行目「検討していきました」を「検討しました」に修正する。

《委員》

先程の12頁の下から2行目を「希望する高齢者誰もが」とすると、「希望する者」に限定される。15頁の最後の行の「高齢者全体」の方が言い当てている。

《委員》

使いたくない人もいると思い「希望する高齢者」としたが、それでよい。

《委員長》

15頁の「すべき」の表現も修正する。

《コンサル》

15頁の第5章は、第2章から第4章の再掲なので連動して修正したい。

《委員》

「スポーツの拠点」が分かりにくい。

《委員長》

15頁の第5章は、第2章から第4章と一緒にしなくてもよい。15頁の「スポーツの拠点化をすべき」は「スポーツ拠点として集約」といった表現でもよいのではないか。

《委員》

下宿地域はスポーツ施設だけではない。意味が違ってきてしまう。

《委員長》

第2章の検討結果がまとめられたものだとして理解している。そちらではスポーツのことしか書かれていない。

《委員》

「スポーツ施設を中心とした拠点化を図る」等に修正する。

《委員長》

他に15頁で違和感があったのは、「保育園は拠点への集約の対象外」である。「保育園は拠点への集約は難しい、集約はできない」等の方が分かりやすい。

《委員》

「対象外」はマイナス表現なので「点在すべき」という表現の方がよい。

《委員》

「需要のある場所に点在させる」といった表現がよいのではないか。

《委員長》

15頁の「小学校の適正配置は、通学についてまず考慮すべき」という表現も、これだけ見ると分かりにくい。

《コンサル》

15頁の第5章は「まとめ」の頁だが、第2章から第4章の再掲であるとは言え、言葉足らずで分かりにくい。もう少し2、3行程度で表現し、第5章全体で2頁程になる様修正したい。

《委員》

15頁は、1が全市レベルで2と3が地域レベルである。2の前に地域レベルという言葉を加筆する。

《委員長》

その方が分かりやすい。

《委員長》

15頁の「高齢者全体」は、「全ての高齢者」や「高齢者みんな」等、もう少し柔らかい表現の方がよい。

《委員》

「高齢者誰もが」がよい。

《委員長》

先程、各章の「検討結果」の後の「その他の意見」の代わりに、会議録を巻末に掲載するとしたが、市長及び検討本部に報告することを考えると、文量的にこのままの方がよいかもしれない。

《委員》

せっかくまとめてあるのもったいないかもしれない。会議録を全て読むのは大変かもしれない。

《委員》

会議録を確認すれば文意が伝わるが、今の「その他の意見」だけだと分かりにくい。ただし会議録は分量的に読まれないかもしれない。様々な意見が出たことは伝えたい。

《委員》

まとめちゃうと分かりにくくなってしまうので、まとめる意味はないのではないか。

《委員》

本文は短くして、後ろに参考資料として入れる。会議録まではいかないが、委員会で出た意見という様な形で載せる。本文ではない扱いにする。

《委員》

2頁の検討内容は実際に各回で実施したと異なる記載となっているので修正する。第2回の「防災施設のあり方」の削除、第3回「子育て(0～18歳)」の「(0～18歳)」の削除、第4回「コミュニティ施設(貸館など)」の「(貸館など)」の削除、第5回の内容の修正等である。

《コンサル》

「その他の意見」は会議録として資料編に掲載するという理解でよいか。

《委員》

今の案の様に、中途半端にまとめる位なら、全部載せた方がよい。

《コンサル》

各章の「検討結果」に様々な意見が出た様に記載すればよいか。

《委員》

「結論」という表現も少し違う。

《委員》

会議録は毎回17頁程ある。文量が多い。

《委員》

それだけ議論したと言うことで良いと思う。読まれないから一行にまとめるということは違うと思う。

《委員》

今の「その他の意見」程度の文量で良いと思う。

《委員》

今の「その他の意見」ではやはり分かりづらい。

《委員長》

「その他の意見」を削除するのも、せっかくまとめてあるのにもったい

ない気もする。

《委員》

どうまとめるかである。

《コンサル》

今までの修正内容を確認したい。2頁と3頁の間に再編の前提となる考え方を加筆する。「拠点」という言葉も全市レベルと地域レベルで明確に区別した名称を使う。各章の「検討結果」はもう少し多様な意見が出たといった書きぶりに修正する。最後の15頁の第5章は簡略し過ぎであるためもう少し補足する。資料編として巻末に会議録か、あるいは会議録をまとめたものを入れる。また併せて前提となっている稼働率等の数字についても入れる。

《委員長》

「その他の意見」はこのまま生かすということによいか。

《委員》

残していく方がよい。先程読まれないといったことを心配していたが、興味のない人は何を工夫しても読まない。読んでくれるかどうかは意識しなくてよい。せっかくまとめてくれたので削る必要はない。修正することは必要だが、様々な意見が出たので全て残した方がよい。

《事務局》

「その他意見」は本文中に残すということか、巻末に会議録を入れるということか。どちらがよいか。

《委員》

載せられるなら全部載せた方がよい。

《委員長》

「その他意見」をもう一度丁寧に確認し、基本的にはこのスタイルでまとめる。

3. その他

- 企画部長より挨拶。
- 今後のスケジュール（報告書修正、公共施設再編全体）について連絡。
- 本日の委員報酬及び会議録等について連絡。

以上